2024

情報セキュリティセミナー

開催日 10/4 FRI

14:00～16:00　受付 13:30～　オンライン同時配信

サイバーセキュリティ管理体制の強化

大学等の組織では、情報ネットワークを通過するパケットや端末内のプログラムの動きを監視するという方法等を用いて組織内を守るという考え方で情報セキュリティ対策を行ってきました。しかし、十分な情報セキュリティ対策を行っていても全てを防御することが困難となっており、標的型攻撃や脆弱性攻撃などにより情報セキュリティインシデントが発生しています。そこで、全ての攻撃が防ぎきれずに被害が発生することを想定してセキュリティ対策が行われる必要が生じるようになっています。
本セミナーでは、被害を受けたときにどのように行動するかの対応方策についてご教示いただきます。

講師　**高倉 弘喜** 氏

国立情報学研究所
ストラテジックサイバーレジリエンス
研究開発センター・センター長

講師紹介

内閣官房情報セキュリティーセンター，厚生労働省，経済産業省，総務省，文部科学省，情報処理推進機構，JPCERT/CC，関東管区警察局，愛知県警，JNSA などにおいてサイバーセキュリティに関する委員会に参加。
未知のサイバー攻撃の検知・追跡・対抗策構築に関する研究に従事し、IEEE COMPSAC のサイバーセキュリティに関するシンポジウム委員長など国際会議の運営にも協力。

セミナー概要

サイバーセキュリティ対策は重要ではあるが、攻撃による被害を完全に防ぐことは難しく、十分な対策を講じていた組織でも僅かな見落としなどで被害が発生する状況が続いています。一方で、サイバー攻撃による被害が発生した場合、従来のように情報システム停止・復旧・運用再開という手順を踏むことは難しくなっています。
本セミナーでは、単なるサイバーだけではなく、組織運営のBCPを考えた対策について説明します。

タイムテーブル

- 13:30～　受付
  メディアホール前ホワイエ
- 14:00～　挨拶
  理事・副学長（最高情報セキュリティ責任者）
  満田 憲昭
- 14:05～　講演
  国立情報学研究所
  高倉 弘喜 氏
- 15:35～　質疑 / 応答
- 15:50～　CSIRT報告
- 16:00～　閉会挨拶
  総合情報メディアセンター教授
  川原 稔

▶対象：教職員
▶会場：愛媛大学総合情報メディアセンター
　1Fメディアホール
▶主催：愛媛大学総合情報メディアセンター
▶申込締切：2024年10月3日（木）
▶お問合せ：center@dpc.ehime-u.ac.jp

申し込みはコチラ